

おしぼの作り方

おしぼ美術とは

園芸植物の豪華な花から、庭のすみに生える名も知らぬ野草や、道端に咲くありふれた草まで、私たちをとりまく植物の美しさを、それにまつわる思い出や願いとともに表現しようとするのがおしぼ美術です。

おしぼの方法

素材の採集

いきなり採集しないで、花の咲き方、葉の付き方、茎の立ち方などをよく観察し、色紙に貼るときの構図の参考にします。

押し方の注意（図参照）

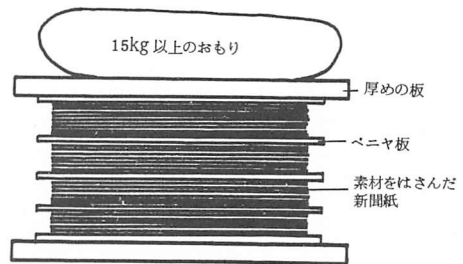
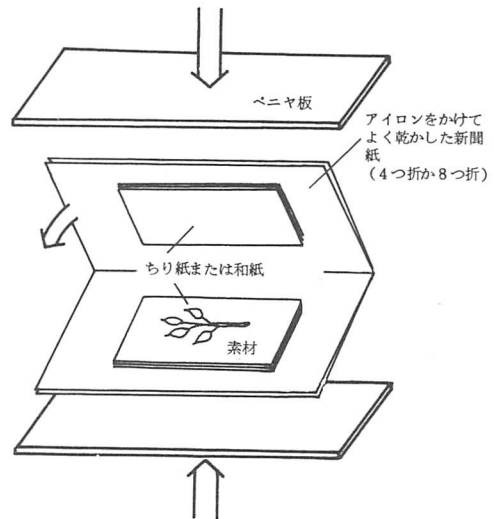
1. 採集してきた素材は、水洗いして土やほこりを除き、布切れかちり紙で水気をとっておきます。
2. 花は茎葉から切り離し、別々に押ししておき、色紙に貼る時にくっつけます。
3. 新聞紙とちり紙は毎日とり替えます。これによって素材の乾燥が早くなり、よい色が残ります。
4. 素材がやわらかく、形がくずれやすい場合には、素材に接着した上下のちり紙はそのままにし、他の紙だけとり替えます。
5. 約7～10日でできあがりますが、手で持ったときしっかりしている状態になるまで押し続けます。
6. できあがったら週間誌にはさんで、乾燥材といっしょに菓子かんなどの器に入れて保存します。

※素材の作り方には、この重圧式のほか、いろいろな方法があります。

色紙への貼り方

保存しておいたおしぼを取り出し、採集する前の状態を思い出しながら構図を考えます。

構図が決まったら、竹串などで木工用接着剤をつけ、色紙に貼り付けます。このときおしぼは、ピンセットを使っていねいに扱います。



素材の押し方

